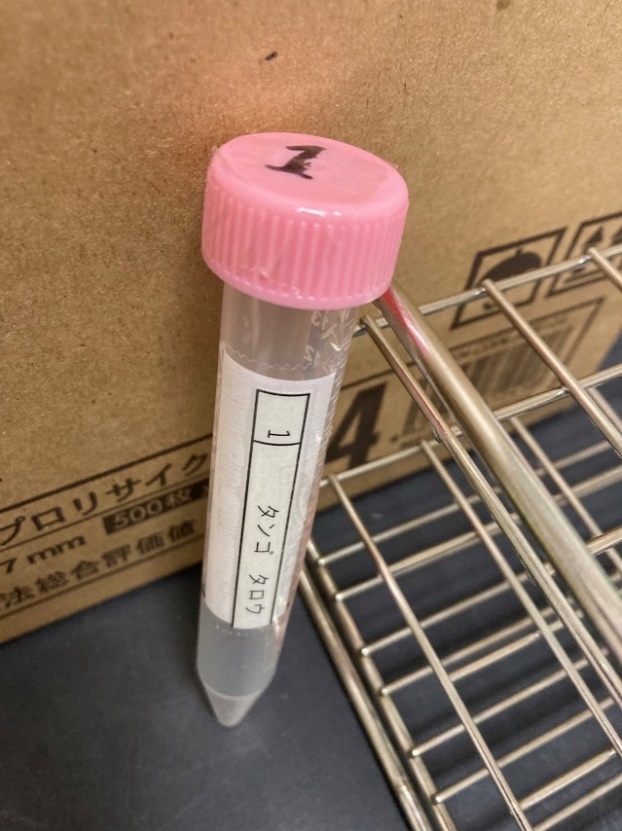
**施設で検査される際のお願い**

**●容器の準備**

※写真のとおりに作ってください

　（検体により容器が異なりますので、間違わないように準備してください）

＜鼻咽頭・鼻腔用容器＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜唾液用容器＞



**＜注意＞容器を消毒した際に、ふたと側面の文字が消えない・にじまないようにセロハンテープを貼る**

**［容器側面］**

**検体番号・カタカナを印刷した紙を**

**セロハンテープで貼る**

**［容器ふた］**

**番号を書き、**

**セロハンテープを貼る**

**●検体採取の注意点**

「唾液(だえき)検査を受けられる方へ」

「鼻咽頭・鼻腔ぬぐい液の検体採取手順」をよく読み、採取してください

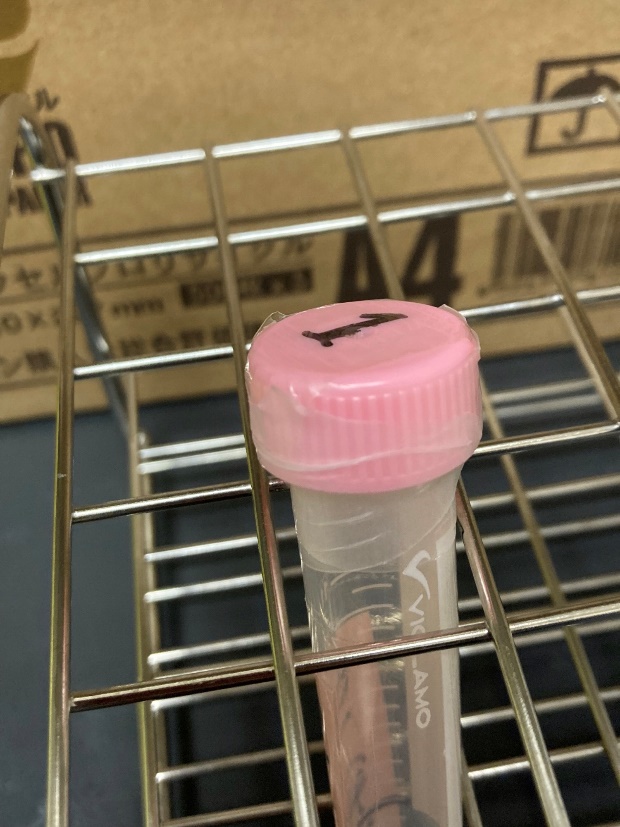
**※検体スピッツの氏名と受検者が一致するか、必ず２人で確認する**

**※鼻咽頭・鼻腔検査で使用したスワブは容器の中に残し、**

**入らないスワブの軸をハサミで切る**

**●検体容器等の保管（検体採取前）**

鼻咽頭・鼻腔用の検体容器は冷蔵保管し、保冷剤は冷凍庫で保管する



**●検体採取後**

・検体採取後の容器は**しっかり蓋をしめ、**外側全体をアルコール消毒する

・キャップ周囲にパラフィルムを巻く

・容器を透明ボックスに入れ、保冷剤を入れたクーラーボックスに入れる

・**保冷した状態で**保健所に搬入する

**パラフィルム**

**優しく伸ばしながらふたと容器の間に巻く**

**●防護について**

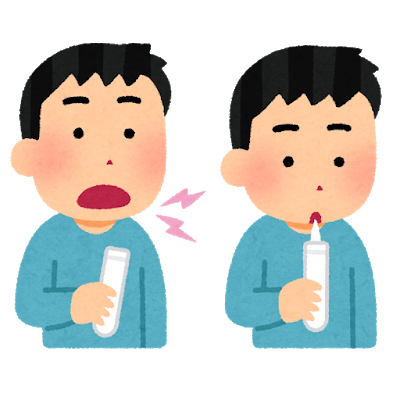
　検体採取等の検査に関わる職員は、適切な防護具を使用し、検査前後の手洗い、

消毒等の感染対策を徹底する

検査を受けられる方へ

**検査前６０分は飲食・歯磨きをお控えください。**

（透明な飲み物は10分前まで飲んでもＯＫです）

1. [](https://2.bp.blogspot.com/-P3QWr3g6R2I/WzC-leJ6XcI/AAAAAAABNDM/j9XTkct8M3Ivp4dIwPHMKlY2Ym2n728yQCLcBGAs/s800/medical_kakutan_kensa.png)　容器を受け取り、容器の名前と自分の名前と間違いないか確認する
2. フタを取り、唾液を入れる

ストローを使うと唾液を入れ

やすいです。

**※使用後のストローは、**

**ビニール袋に入れて持ち帰り、**

**各自で処分してください。**



５ｍｌのメモリまで唾液を入れる

1. フタが閉まっていることを確認し、容器の外側をアルコール綿で消毒する

容器の外側が唾液で汚れた場合は、アルコール綿で拭き取ってから職員に渡してください。

**※使用後のアルコール綿は、ビニール袋に入れて持ち帰り、各自で処分してください。**

1. 施設職員に渡すまで時間があく場合は、保冷剤や氷で冷やして保管する

1. 唾液採取後の容器は、施設職員が用意したチャック付きポリ袋に入れる

※唾液の採取時以外は、マスクの着用をお願いします。

・検査結果は、検体採取した翌日～３日後くらいに判明予定です。

判明次第お知らせしますので、連絡をお待ちください。

**鼻咽頭・鼻腔ぬぐい液の検体採取手順**

1. **検体スピッツの氏名と受検者を２人で確認する**
2. 検体採取者、介助者は個人防護具を装着する

〔長袖ガウン、手袋２重、キャップ、マスク、フェイスシールド〕

1. 検体採取場所の準備

検体採取後に廃棄しないものは、汚染を避ける位置に配置する



**・テーブル等に準備物を配置**

**スワブ、スピッツ立て、アルコールスプレー、ハサミ**

**トレー、ペーパータオル、手袋、マスク予備**

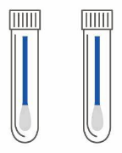
**・感染性廃棄物を入れるゴミ箱（ポリ袋二重かぶせる）**

1. 検査介助者は、スピッツ立てにスピッツのフタを開けて準備をする

※**採取前のスピッツと採取後の検体スピッツが混在しないよう注意**

1. 検体を採取する。採取者は、汚染防止のため検体採取毎に手指消毒をする。

※外側手袋を交換するときは、内側手袋のアルコール消毒を行う。



**採取者は検査者の正面には立たない！**

**スピッツに入らないスワブの軸をハサミで切る**

1. 検体採取後、スワブをスピッツに入れ下記（□のどちらか）の処理をする。

□介助者が、スピッツに**入らないスワブの軸をハサミで切り蓋を閉める**。

※ハサミは、検体毎にアルコールで浸したペーパータオルで消毒する。

　必ずハサミは乾燥した状態で使用する。

1. スピッツの蓋が**しっかりと閉まっているのを確認**し、アルコールを浸したペーパータオルでスピッツを消毒し、キャップ周囲にパラフィルムを巻く。

裏面続く

＊＊＊＊＊全員の検体採取　終了＊＊＊＊＊

1. 採取検体をスピッツ立てとともに透明ボックスに入れ蓋を閉める。

透明ボックスの周囲をアルコールを浸したペーパータオルで消毒する。

1. 個人防御具を脱衣

防護具の汚染側に触れないように注意して手順通りに脱ぐ。

外側グローブ　⇒　手指消毒　⇒　ガウン　⇒　手指消毒

⇒キャップ・フェイスシールド　⇒　手指消毒　⇒　マスク

⇒内側グローブ　⇒　手指消毒

**※手指が汚染されたかも？という時は、慌てずしっかり手指消毒！**

1. 新しいマスクと手袋を装着（1枚でOK）し、検体採取場所の片付け

　　　汚染の恐れがあるテーブルをアルコール消毒する。

1. ゴミの片付け

汚染されたものは二重のポリ袋に密閉して、規定の廃棄ルールに従う。

リサイクルする物品は、アルコール消毒後に乾燥させておく

* **採取後の検体は冷蔵保存（４℃）する**